

平成29年度実施報告書

I 研究開発の概要

1 研究開発構想名

日本の歴史・伝統・文化を踏まえて、多文化共生社会を構築するグローバル・リーダーの育成

2 期待する生徒の将来像

グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や様々な国際舞台で活躍できる人材となり、人類の幸福に寄与するようなグローバル・リーダー

3 身に付けさせたい能力等

- (1) 日本の歴史・伝統・文化に対する理解の深化
- (2) 思考力・判断力・表現力・情報活用能力
- (3) グローバルな社会課題に対する関心・意欲・探究心
- (4) コミュニケーション能力
- (5) 日本と諸外国を比較検討し異文化を理解しより良き未来を指向する力
- (6) 課題解決能力
- (7) 創造的提案を的確に発信する力
- (8) 英語力

4 生徒の現状（課題）

- (1) グローバルな視点での見方や考え方・異文化理解が十分とは言えない。
- (2) 日本の歴史・伝統・文化を発信することに課題がある。
- (3) 海外で自分の考えを発表したりディスカッションをしたりする機会がない。
- (4) 海外等で使える英語力が十分とは言えない。

5 仮説及び検証方法等

(1) 仮説1（身に付けさせたい能力等（1）～（4））

「生徒の現状（課題）（1）（2）（4）」の克服を図り、主に「身に付けさせたい能力等（1）～（4）」を身に付けさせる。

ア【仮説1】

教育課程に、グローバル・リーダー育成を目的とした教科を設定し、グローバルな視点からものごとを捉える学習内容にするとともに、日本の歴史・伝統・文化及びグローバルな課題に係る授業、調査活動、体験活動、交流活動、発表活動等を取り入れれば、日本の歴史・伝統・文化に対する理解が深まり、グローバルな社会課題に対する関心・意欲、探究心が高まり、思考力・判断力・表現力・情報活用能力等が向上し、コミュニケーション能力が身に付くのではないかと。

イ【具体的な実施内容及び検証方法の概要】

「研究開発2・3・5・6」及び「課題研究以外の研究開発1」において行う。

(ア) 実施内容

- a 教育課程に、グローバル・リーダー育成を目的とした学校設定教科「グローバルラーニング（GL）」を設定し、既存の教科「地理・歴史」、「公民」、「外国語」を再編する。
- b 学校設定教科「グローバルラーニング」の中に、生徒の課題について、大学や企業、関係機関等と連携し、調査活動、体験活動、交流活動、発表活動等が週時程外で実施できる「GLアクティブ」を設定する。

(イ) 検証方法

- a 生徒、保護者、教員によるアンケート
- b 大学進学実績（平成30年度以降実施）
- c 課題研究及びプレゼンテーション等の成果からの分析

(2) 仮説2（身に付けさせたい能力等（5））

生徒の現状（課題）（1）（3）」の克服を図り、主に「身に付けさせたい能力等（5）」を身に付けさせる。

ア【仮説2】

海外研修の機会を設け、現地の高校又は大学と連携を図り、自分の考えを発表したりディスカッションをしたりする機会や交流活動を設けるとともに、現地での調査活動、体験活動を通して日本との比較を行うことでグローバルな課題の解決策を探究させれば、異文化を理解し、より良き未来を指向することができるのではないかと。

イ【具体的な実施内容及び検証方法の概要】

「研究開発4」において行う。

(ア) 実施内容

オランダ、イギリス、ドイツ、シンガポール、オーストラリアでの海外研修を実施する。

(イ) 検証方法

- a 生徒、保護者、教員によるアンケート
- b 生徒の報告書の分析

(3) 仮説3（身に付けさせたい能力等（6）～（8））

生徒の現状（課題）（1）（2）（4）の克服を図り、主に身に付けさせたい能力等（6）～（8）を身に付けさせる。

ア【仮説3】

「GLアクティブ」で得た情報を整理し、日本の歴史・伝統・文化を踏まえてグローバルな社会課題について研究（国際間での文化や社会の対立を排除し、その融和の実現を図る探究）を行い、国際社会に発信可能な英語での報告を行わせれば、英語力の向上、課題解決方法を考え創造的提案を行う発信力が高まり、課題を解決する能力と態度が身に付くのではないかと。

イ【具体的な実施内容及び検証方法の概要】

研究開発1」及び「課題研究以外の研究開発2・3」において行う。

(ア) 実施内容

総合的な学習の時間を「GL探究」とし、1年次に「GLアクティブ」等で得た情報を整理し、グローバルな社会課題から研究課題を定めさせ、2年次から日本の歴史・伝統・文化を踏まえて、グローバルな社会課題の解決に向けた研究を行い、英語によるプレゼンテーションを実施するとともに論文を作成させる。

(イ) 検証方法

- a 生徒，教員によるアンケート
- b 課題研究の校外外での発表の件数や入賞の件数
- c 進路希望や進路意識の変容の分析
- d 留学生等の外部からの評価
- e 英語検定等の達成レベル
- f 海外研修に参加した生徒の自己評価（英語について）

6 平成29年度の生徒の到達目標

第2学年生徒

- ① 取り上げた研究課題に対して適切に調査を行うことができる。
- ② 日本の歴史，伝統，文化を踏まえて取り上げた研究課題の解決策を考えることができる。
- ③ 日本と諸外国を比較検討し異文化を理解しより良き未来を考えることができる。
- ④ 導き出した解決策を具体的に示すことができる。
- ④ 自分の考えを論理的かつ的確に発信することができる。

第1学年生徒

- ① 全員が海外に自信をもって発信できる，課題研究テーマに関する日本の歴史，伝統，文化を語れるようにする。
- ② 研究したいグローバル社会における課題を見つける。
- ③ 英語でプレゼンテーションができるようにする。
- ④ 課題研究の進め方を理解する。

7 研究体制

(1) SGH拡大委員会（SSH・SGH推進委員会，15名）

学校全体に係るSGH事業の運営及びSSHとの連携に係る研究組織であり，委員の構成は次のとおりである。

委員長 校長

副委員長（3名） 教頭（2名），SGH主任

委員（11名） 国際交流部長，SSH部長，SSH部員，教務主任，国語代表，地理歴史・公民代表，数学代表，理科代表，保健体育代表，芸術代表，英語代表

(2) SGH推進委員会（14名）

昨年度末，具体的な方針，運営について検討する組織としてSGH推進委員会を編成した。委員の構成は次のとおりである。

委員長 校長

副委員長（3名） 教頭（2名），SGH主任

委員（9名） 国際交流部長，地理歴史・公民科主任，英語科主任，第1学年主任，第2学年主任，第1学年SGH担当，第2学年SGH担当，教務主任，

事務主幹

(3) S G H実務担当チーム

S G Hに係る具体的な企画・運営に係る素案作成及び運営に当たり、研究の中核を担う組織として編成した。委員の構成は次のとおりである。

教頭 (S G H担当), S G H主任, 国際交流部員 (5名)

(4) S G Hサポートチーム

S G H実務担当を補佐し, G L探究等の運営に携わった。

第1学年副担任5名, 第2学年2名

(5) 研究開発ごとの担当

研究開発		主担当	担当職員
研究開発1 「課題研究」	計画・運営	内山 浩史	S G H実務担当, S G H推進委員会
	課題研究指導	内山 浩史	当該学年全員
	課題研究助言	内山 浩史	全職員 (地歴・公民を中核とする。)
	プレゼン指導	尾竹 陽子	G Lコミュニケーション英語担当
研究開発2 「教育課程」	学校設定教科 「グローバルラーニング」	石倉 裕之	地歴・公民担当
	G Lアクティブ	内山 浩史	全職員 (地歴・公民を中核とする。)
研究開発3「国内グローバル研修」		尾竹 陽子	外国語 (英語) 担当・学年職員
研究開発4「海外研修」		羽計 仁子	国際交流部・外国語 (英語) 担当等
研究開発5「大学との連携」		石倉 裕之	S G H実務担当・進路指導部・当該学年職員
研究開発6「企業・国際機関等との連携」		戸村 玲子	全職員 (S G H実務担当を中核とする。)
課題研究以外の研究開発1 「教育課程」		羽計 仁子	G Lコミュニケーション英語担当
課題研究以外の研究開発2	英検等に対する取組	井守 雄一	外国語 (英語) 担当
	海外からの留学生等との交流	羽計 仁子	国際交流部・当該学年職員
課題研究以外の研究開発3		入江 順一	国際交流部・鹿山会関係職員・進路指導部

8 主な連携とその内容

連携先	期日	連携内容
千葉大学	平成29年 4月18日 (火)	「G L探究」において, 千葉大学学長徳久剛史先生の講演を行った。

	平成29年 6月25日(日)	[連携学部] 教育学部 「GLアクティブ」において、「千葉大ESDワークショップ」に生徒が参加し千葉大教育学部の海外からの留学生とガムラン演奏等を通して英語でコミュニケーションを図った。
	平成29年 8月1日(火)	[連携学部] 国際教養学部 「GLアクティブ」において、和田健准教授と連携し、千葉大学の海外からの留学生が語る日本の歴史や文化の魅力などを聞くとともに、意見交換を行った。
	平成29年 8月4日(金)	[連携学部] 千葉大学環境ISO学生委員会 「GLアクティブ」において、学生の研究内容や環境マネジメントシステムについての説明を受けた。
	平成29年 10月3日(火)	[連携学部] 国際教養学部 「GLアクティブ」において、ガイタニディス・ヤニス助教の研究室を訪問し、模擬授業を行った。
	平成29年 10月28日(土)	[連携学部] 教育学部 「GLアクティブ」において、野村純教授と連携し、生徒が千葉大教育学部の海外からの留学生に佐倉の歴史的建造物などを英語で紹介した。
	平成29年 12月8日(金)	[連携学部] 国際教養学部 「GLアクティブ」において、清野智明准教授及び同学部留学生によるドイツ講座を実施した。
	平成29年 7月～12月	[連携学部] 国際教養学部 和田健准教授・小林聡子助教に課題研究に係る生徒の相談に個別に対応していただき、具体的な助言を随時いただいた。
	平成30年 2月6日(火)	[連携学部] 国際教養学部・高大連携室 「GL探究」において、足立欣一特任教授、小林聡子助教、ガイタニディス・ヤニス助教に1年次・2年次生の課題研究発表会を参観いただき、助言・指導をいただいた。
	平成30年 3月19日(月)	[連携学部] 国際教養学部・高大連携室 「GL探究」において、和田健准教授、小林聡子助教、ガイタニディス・ヤニス助教、足立欣一特任教授に課題研究発表会を参観いただき、助言・指導をいただいた。
東京外国語大学	平成29年 10月3日(火)	田中孝史氏の模擬授業を行った。

筑波大学	平成29年 10月3日(火)	人文社会系柏木健一准教授の模擬授業を行った。
東京入国管理局	平成29年 7月27日(木)	東京入国管理局本局(品川)及び羽田支局に生徒が訪問し説明等を受けた。
国立歴史民俗博物館	平成29年 4月18日(火)	1学年生徒全員が館内の見学等を実施した。
	平成29年 8月23日(水)	日本の近代史について樋浦郷子准教授による講義を実施した。
国際協力機構(JICA)	平成29年 11月10日(金)	JICA海外ボランティア経験者2名による「GL探究」の講演を行った。
DIRECT FORCE	平成29年 11月10日(金)	DIRECTFORCE授業支援の会3名による「GL探究」の講演を行った。
メロス言語学院	平成30年 2月6日(火)	「SGH課題研究～互いのプランを深め合うクラス発表会～」において、海外からの留学生28名による発表に対する助言及び評価を行った。
	平成30年 3月19日(月)	「SSH・SGH合同課題研究発表会」において、海外からの留学生18名による発表に対する助言及び評価を行った。
東京ジャーミイ・トルコ文化センター	平成29年 8月2日(水)	東京ジャーミイ・トルコ文化センターを訪問し、職員の下山茂氏から説明を受け、見学を行った。
NPO法人安房文化遺産フォーラム	平成29年 6月27日(火)	代表愛沢伸雄氏による地域の歴史の重要性について及び地域と世界との関係等について講義を行った。
NPO法人難民を助ける会	平成29年 8月24日(木)	国外・国内の難民支援活動の現状についての講義を行い、その後課題研究の指導・助言を受けた。
社会福祉法人さぼうと21		
NPO法人国際社会貢献センター	平成29年 7月24日(月)・31日(月)・8月18日(金)・28日(月)	シンガポール研修に参加する生徒対象に、課題研究に係る指導・助言及び英語でのプレゼンテーションの指導を受けた。
日本政策金融公庫	平成29年 5月26日(金)	ビジネス課題についての研究手法等についての講義及び相談会を行う。
	平成29年 7月18日(火)・9月5日(火)・9月26日(火)	ビジネス課題を取り上げている生徒対象に相談会を行った。
	平成29年 7月24日(月)	日本政策金融公庫千葉支店において課題研究の助言・指導を受けた。

クレアシンガポール事務所	平成29年 9月14日(木)	海外研修において、クレアシンガポール事務所を訪問し、職員から課題研究の指導・助言を受けた。
セント・ジョセフ・インスティテューション	平成29年 9月15日(金)	海外研修の交流校として、課題研究の発表及びディスカッションを行った。
デュッセルドルフ市	平成29年9月～ 平成30年3月	デュッセルドルフでのフィールドワーク及び現地校との連携等について支援を受けた。
ツェツィリアンギムナジウム	平成30年 3月16日(金)	海外研修の交流校として、課題研究の発表及びディスカッションを行った。
ナンボー・クリスチャンカレッジ	平成29年8月1日(火)・2日(水)	海外研修の交流校として、課題研究の発表及びディスカッションを行った。
シーボルトハウス	平成29年 11月10日(金)・11日(土)	シーボルトハウス フォラー邦子氏との連携により、オランダ・ライデン大学や国立歴史民族学博物館との連携を構築し、生徒がオランダ派遣の研修の一環として訪問し、説明を受け調査を行った。
佐倉市立間野台小学校・内郷小学校・佐倉小学校	平成29年 7月及び10月	課題研究に係る検証を、児童対象に特別授業として実施した。

9 平成29年度SGH事業の実施状況

(1)「GL探究」(総合的な学習の時間)

月日	学年	内容	
4月10日(月)	2	「課題研究の見通しを立てよう」	
4月11日(火)	1	ガイダンス1「SGHプログラム」(体育館)	
4月18日(火)	4時間	1	ガイダンス2「佐倉を知る」(全クラス)
	2時間	2	講演(千葉大学学長講演 徳久 剛史先生)
4月25日(火)	1・2	ガイダンス3「海外研修の報告を聞こう1」	
5月1日(月)	2	「課題研究を進めよう」	
5月26日(火)	2時間	1	「課題研究を始めよう」(体育館)
	1時間	2	「研究計画を作成しよう」
6月13日(火)	2	「研究計画を作成しよう」	
6月27日(火)	1	講演(房総文化遺産フォーラム 愛沢伸雄先生)	
6月28日(水)	1	「課題研究のテーマを見つけよう」	
7月7日(金)	1	「夏季休業を活用しよう」	
7月12日(水) 2時間	1	講演(名古屋外国語大学 津田 守先生)	
7月20日(木)	2	「フィールドワーク等について」	
9月5日(火) 2時間	1	「1分間スピーチを通して研究グループをつくらう」	
	2	「フィールドワーク等の資料整理をしよう」 (ビジネス課題相談会)	

9月12日(火) 2時間	1	鹿山夢講座「ようこそ先輩」
9月26日(火) 2時間	1	「課題研究テーマ, 研究の目的(設定理由, 仮説等)を決めよう」
	2	「課題研究報告書を作成しよう」 (ビジネス課題相談会)
10月10日(火)	1・2	「海外研修の報告を聞こう2」シンガポール研修報告会・オーストラリア研修報告会(体育館)
10月10日(火)	2	「課題研究報告書を作成しよう」
	1	「SSH課題研究ポスター発表から学ぼう」(体育館)
10月30日(月)	1	「課題研究テーマ, 設定理由等の修正」
	2	「課題研究報告書を作成しよう」
11月7日(火)	1	「課題研究テーマ, 設定理由等の修正」
	2	「発表準備をしよう」
11月17日(火) 2時間	1	「海外理解推進のための講演会」(国際協力機構(JICA), DIRECTFORCE等)
11月21日(火) 2時間	1	講演(クラブワールドピースジャパン理事長 富樫 奏良先生)
11月28日(火) 2時間	1・2	「発表会準備をしよう」
12月12日(火)	1・2	「発表会準備をしよう」
1月9日(火)	1・2	「発表会準備をしよう」
1月16日(火) 2時間	1	「発表会準備をしよう」
	2	「課題研究発表会リハーサル」
1月23日(火) 2時間	1	「課題研究発表会リハーサル」
	2	「発表会準備をしよう」
1月30日(火) 2時間	1	「発表会の内容整理, 発表準備」
2月6日(火) 3時間	1・2	「校内課題研究発表会」
2月20日(火) 2時間	2	「課題研究報告書を作成しよう」
3月19日(月) 4時間	1・2	「SSH・SGH合同発表会」(全クラス)

(2)「GLアクティブ」

月日	分類	テーマ
5月26日(金)	国内研修	ビジネス課題相談会(日本政策金融公庫)
6月25日(日)	国内研修	「千葉大ESDワークショップ」
7月18日(火)	国内研修	ビジネス課題相談会(日本政策金融公庫)
7月21日(金)～ 8月5日(土)	海外研修 (2年)	オーストラリア研修
7月24日(月)	国内研修	ビジネスプラン発表会
7月24日(月) ・31日(月)・8 月18日(金) ・28日(月)	国内研修	シンガポール事前指導「課題研究及びプレゼンテーションについて」(NPO法人国際社会貢献センター)

7月27日(木)	国内研修	「難民問題を考える」 入国管理局見学(東京入国管理局)
7月29日(土)	国内研修	「歴史に学ぶ「戦争の気配」の感じ方」 東京大学教授 加藤 陽子先生
8月1日(火)	国内研修	「歴博+千葉大 留学生プロジェクト」(国立歴史民俗博物館)
8月2日(水)	国内研修	「東京ジャーミイ・トルコ文化センターに行こう」
8月3日(木)	国内研修	「醸造文化, 地域活性化を学ぼう」(神崎, 佐原, 小見川)
8月4日(金)	国内研修	「千葉大学環境ISO学生委員会に行こう」(千葉大学)
8月23日(水)	国内研修	「歴博を知ろう」(国立歴史民俗博物館)
8月24日(木)	国内研修	「難民問題を考える」(難民を助ける会・さぼうと21)
8月26日(土)	国内研修	「江戸博を知ろう」(江戸東京博物館)
9月13日(水)～ 9月16日(土)	海外研修 (2年)	SGHシンガポール海外研修
9月29日(金)～ 10月1日(日)	国内グローバル研修	英語宿泊研修(ブリティッシュヒルズ)
10月3日(火)	国内研修	「東京外国語大学SGH研修」グローバル大学訪問・模擬授業
10月3日(火)	国内研修	「筑波大学SGH研修」グローバル大学訪問・模擬授業
10月3日(火)	国内研修	「千葉大学SGH研修」グローバル大学訪問・模擬授業
10月28日	国内研修	「留学生に紹介する佐倉」
11月9日(木)～ 11月19日(日)	海外研修 (1年)	オランダ派遣
12月8日(金)	国内研修	「ドイツ事情」千葉大学清野智明准教授
12月23日(土)	国内研修 (2年)	第2回関東・甲信越静地区スーパーグローバルハイスクール課題研究発表会(立教大学)
1月16日(火)	国内研修	「ドイツ派遣に向けて」寒郡茂樹氏(本校同窓生)
1月21日(土)	国内研修	外国人おもてなし語学ボランティア育成講座(千葉県)
3月14日(水)～ 3月20日(火)	海外研修 (2年)	SGHドイツ海外研修
3月22日(木)～ 3月29日(木)	海外研修 (2年(一部1年))	SGHイギリス海外研修
3月24日(土)	国内研修 (2年)	SGH甲子園2018(関西学院大学)